



## 2020年4月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月10日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

定時株主総会開催予定日 2020年7月21日 配当支払開始予定日

2020年7月22日

有価証券報告書提出予定日 2020年7月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年4月期の連結業績(2019年5月1日~2020年4月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	44,888	9.8	953	19.2	1,130	16.0	688	22.8
2019年4月期	40,900	5.7	1,179	38.7	1,347	39.5	892	37.0

(注) 包括利益 2020年4月期 776百万円 (1.4%) 2019年4月期 787百万円 (8.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年4月期	136.57		5.2	3.6	2.1
2019年4月期	176.84		7.1	4.4	2.8

(参考) 持分法投資損益 2020年4月期 百万円 2019年4月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年4月期	32,621	13,468	41.3	2,670.12
2019年4月期	30,832	12,792	41.5	2,536.20

(参考) 自己資本 2020年4月期 13,468百万円 2019年4月期 12,792百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	2,328	4,135	1,763	306
2019年4月期	2,533	2,528	161	349

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年4月期		0.00		20.00	20.00	100	11.3	0.8
2020年4月期		0.00		40.00	40.00	201	29.3	1.5
2021年4月期(予想)								

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

2019年4月期期末配当金の内訳: 普通配当20円00銭

2020年4月期期末配当金の内訳: 普通配当30円00銭 記念配当10円00銭

2021年4月期の配当に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日~2021年4月30日)

2021年4月期の第2四半期(累計)および通期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明なため、現時点では売上高等の影響額を合理的に見積ることが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に見積り可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年4月期	5,075,500 株	2019年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	2020年4月期	31,499 株	2019年4月期	31,348 株
期中平均株式数	2020年4月期	5,044,116 株	2019年4月期	5,044,216 株

(参考)個別業績の概要

2020年4月期の個別業績(2019年5月1日～2020年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	37,949	9.8	892	20.4	1,049	17.3	650	23.6
2019年4月期	34,565	5.8	1,120	23.7	1,269	26.9	851	18.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期	128.90	
2019年4月期	168.75	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	30,946	13,435	43.4	2,663.74
2019年4月期	28,793	12,970	45.0	2,571.41

(参考) 自己資本 2020年4月期 13,435百万円 2019年4月期 12,970百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料4ページ「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	13
(1) 役員の異動 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に一定の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移したものの、相次ぐ自然災害の発生や米中貿易摩擦などの不確実な海外情勢の影響に加え、今年に入り顕在化した新型コロナウイルスの世界的大流行により、予断を許さない不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、人手不足を背景とした人件費や物流費の上昇など、依然と厳しい経営環境が続いてきた中、年度末にかけて新型コロナウイルスへの感染抑止策として、政府が打ち出した外出自粛要請などを背景に、内食需要が高まりを見せるなど、消費行動に変化が生じました。

このような状況のもと、当社グループは、安全・安心に重点をおいた包装米飯及び包装餅製品の安定供給、並びに適正価格での販売に努めることを基本に事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、お客様の消費動向を捉えながら、多様化するニーズに対応可能な生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となった営業活動に取り組むことで業績の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、包装米飯及び包装餅製品ともに主力製品を中心に堅調に推移したことから、前年同期比39億87百万円増の448億88百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

利益面につきましては、聖籠工場の新設により売上原価が増加したものの、売上高の伸長により売上総利益は175億37百万円(前年同期売上総利益159億14百万円)と増加いたしました。

しかしながら、前年より続く物流費の上昇、及び販売増にともなう販売促進費の増加により、営業利益は9億53百万円(前年同期営業利益11億79百万円)、経常利益は11億30百万円(前年同期経常利益13億47百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益については6億88百万円(前年同期親会社株主に帰属する当期純利益8億92百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しておりますが、製品分類別の販売動向は以下のとおりであります。

#### 製品分類別の販売動向

##### (包装米飯製品)

包装米飯製品では、2019年6月より稼働を始めた新米飯工場「サトウのごはん聖籠ファクトリー」の竣工を記念した『サトウのごはん聖籠ファクトリー竣工記念キャンペーン』を実施いたしました。

また、近年、特に小盛り・大盛りサイズの販売が好調に推移し、容量別の消費者ニーズが高まってきていることから、商品のバリエーション強化を目的に「サトウのごはん銀シャリ」に“小盛り150g”、“大盛り300g”の2アイテムを追加発売し、配荷拡大に努めました。

さらに、原料米の産地であるJAと提携して、各地の特産品をプレゼントする販促キャンペーンを実施するなど、販売促進に取り組みました。

加えて、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てのごはんを再現できることや、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にマッチしていること、さらには、新型コロナウイルスの感染抑止策を背景とした内食需要の高まりが影響し、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装米飯製品の売上高は235億13百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

##### (包装餅製品)

包装餅製品では、当社グループだけが使用している「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)の特性を、よりお客様にご理解していただくことを目的に、同フィルムのロゴがおいしいお餅のしるしであることをアピールするテレビCMを継続放映するなど、販売拡大に努めました。

新商品としては、主に鍋料理にお使いいただくことを想定した「サトウのしゃぶしゃぶもち」や、調理しやすさ食べやすさを追求し、お餅の大きさを弊社従来品よりコンパクトな20gに設計した「サトウの切り餅シングルパックミニ」、「サトウのまる餅シングルパックミニ」を発売し、更なる需要拡大に向けた取組みを実施いたしました。

また、鏡餅については、消費者の皆様へ、より最適な商品を選んでいただけるように、「サトウのサツと鏡餅」シリーズに新たに1,000gタイプ・400gタイプを加えるなどのラインナップ充実や、一部商品にパッケージのリニューアルを図るとともに、最需要期に向けたCM放映や、販促キャンペーンを実施いたしました。

なお、包装餅製品につきましても、包装米飯製品同様に年度末にかけて内食需要が高まったことから、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装餅製品の売上高は213億52百万円(同7.6%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は136億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億36百万円増加いたしました。

これは主に原材料及び貯蔵品が10億4百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が22億88百万円、流動資産のその他が4億73百万円増加したことによるものであります。増加した流動資産のその他の主なものは未収消費税であります。

固定資産は189億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。

これは主に聖籠工場の新設にともなう資産計上により、有形固定資産のその他(建設仮勘定等)が38億94百万円減少したものの、建物及び構築物が24億20百万円、機械装置及び運搬具が16億41百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は326億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億89百万円増加いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は114億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億74百万円増加いたしました。

これは主に流動負債のその他が7億71百万円、未払金が4億14百万円減少したものの、運転資金としての短期借入金が27億円増加したことによるものであります。減少した流動負債のその他の主なものは一年内償還予定の社債、及び未払消費税等であります。

固定負債は76億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億59百万円減少いたしました。

これは主に退職給付に係る負債が2億13百万円、長期借入金が1億5百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は191億53百万円となり、前連結会計年度に比べ11億14百万円増加いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は134億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億75百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が5億88百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.3%(前連結会計年度末は41.5%)となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末(3億49百万円)に比べ43百万円減少し、3億6百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は23億28百万円(前年同期比2億4百万円減)となりました。

この主な内訳は税金等調整前当期純利益および減価償却費による資金の増加の一方、売上債権の増加による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は41億35百万円(前年同期比16億7百万円増)となりました。

この主な内訳は聖籠工場の新設に伴う有形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は17億63百万円(前年同期比19億24百万円増)となりました。

この主な内訳は短期借入金の増加によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年4月期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
自己資本比率(%)	37.9	40.0	41.0	41.5	41.3
時価ベースの 自己資本比率(%)	56.9	55.6	61.2	59.1	59.5
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	1.9	3.0	3.7	3.9	5.3
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	43.4	31.8	28.6	43.7	56.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- 3 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

食生活のスタイルは、消費者の食品に対する安全・安心への関心の高まりや、少子高齢化等の社会構造の変化により、一層多様化・個別化するものと予想しております。

このような状況の中で、当社グループは、包装餅におけるトップブランドとしての「サトウの切り餅」、及びパオニアブランドとしての「うさぎもち」の確固たる基盤を拡大してまいります。

包装米飯におきましては、当社独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、おいしさと利便性を追求し、消費者の皆様に喜ばれる製品作りに努めてまいります。

また、多様化する消費者ニーズに応えるため、他社と差別化できる競争力のある新製品の開発に取り組むとともに、需要創造を目指したキャンペーンやプロモーション活動等により製品販売の拡大に努めます。

さらに、当社グループとしてシナジー効果を最大限に発揮できるよう、経営全般にわたる効率化を促進し、業績の拡大に取り組んでまいります。

なお、今年に入り世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症については、国内では非常事態宣言が解除され、落ち着きを見せ始めてはいるものの、現時点ではその収束時期は不透明な状況にあります。

当社の包装米飯・包装餅は、ともに無菌化包装製品であり比較的賞味期限が長いこと、内食志向の高まりを受け、需要が増加傾向にあります。

当社といたしましては、安定供給を第一と考え、増産等に取り組んでまいりましたが、この状態がさらに続く場合には、原材料の調達等に影響が生じることも考えられます。

また、消費されず流通段階にある製品在庫や家庭内での備蓄が増加していることも考えられ、新型コロナウイルス感染症収束後の販売動向については、見通しを立てることが困難な状況にあります。

以上のことから、2021年4月期の業績予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

今後当該予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表を行う予定です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	349,847	306,477
受取手形及び売掛金	6,155,029	8,443,834
商品及び製品	1,790,732	1,791,935
仕掛品	630,586	653,359
原材料及び貯蔵品	2,899,152	1,894,882
その他	106,702	580,182
貸倒引当金	△4,830	△6,850
流動資産合計	11,927,221	13,663,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,420,211	13,154,653
減価償却累計額	△6,996,083	△7,310,114
建物及び構築物(純額)	3,424,128	5,844,538
機械装置及び運搬具	22,094,153	24,883,973
減価償却累計額	△17,577,652	△18,726,141
機械装置及び運搬具(純額)	4,516,500	6,157,832
土地	2,346,415	2,346,415
建設仮勘定	3,909,921	58,703
その他	1,710,142	1,852,985
減価償却累計額	△1,301,709	△1,487,515
その他(純額)	408,432	365,470
有形固定資産合計	14,605,399	14,772,960
無形固定資産	98,575	174,022
投資その他の資産		
投資有価証券	1,292,028	1,149,288
投資不動産	2,816,771	2,724,045
減価償却累計額	△356,953	△356,030
投資不動産(純額)	2,459,818	2,368,015
その他	473,323	521,135
貸倒引当金	△26,020	△27,260
投資その他の資産合計	4,199,150	4,011,179
固定資産合計	18,903,125	18,958,162
繰延資産	2,035	-
資産合計	30,832,382	32,621,984

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,854	1,218,516
短期借入金	1,050,000	3,750,000
1年内返済予定の長期借入金	2,192,921	2,121,742
未払金	3,386,410	2,971,477
賞与引当金	361,599	371,444
役員賞与引当金	37,580	39,100
その他	1,782,294	1,010,798
流動負債合計	10,008,659	11,483,079
固定負債		
長期借入金	6,653,563	6,548,076
役員退職慰労引当金	60,414	58,649
退職給付に係る負債	1,020,043	806,377
その他	296,737	257,706
固定負債合計	8,030,758	7,670,809
負債合計	18,039,418	19,153,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	11,430,384	12,018,385
自己株式	△36,167	△36,715
株主資本合計	12,443,992	13,031,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603,540	520,063
退職給付に係る調整累計額	△254,568	△83,413
その他の包括利益累計額合計	348,972	436,650
純資産合計	12,792,964	13,468,095
負債純資産合計	30,832,382	32,621,984



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上高	40,900,466	44,888,211
売上原価	24,985,887	27,350,665
売上総利益	15,914,579	17,537,545
販売費及び一般管理費	14,735,336	16,584,427
営業利益	1,179,242	953,118
営業外収益		
受取利息	178	15
受取配当金	13,328	14,473
受取賃貸料	194,184	193,297
副産物収入	76,469	100,575
電力販売収益	50,116	49,112
その他	88,354	45,987
営業外収益合計	422,630	403,462
営業外費用		
支払利息	58,012	41,512
賃貸費用	106,825	93,769
電力販売費用	31,044	28,253
固定資産除却損	28,975	35,864
その他	29,995	26,331
営業外費用合計	254,853	225,731
経常利益	1,347,019	1,130,849
特別利益		
固定資産売却益	5,670	-
投資有価証券売却益	6,025	-
特別利益合計	11,695	-
特別損失		
固定資産売却損	2,344	2,537
投資有価証券評価損	-	51,537
災害による損失	-	63,937
特別損失合計	2,344	118,011
税金等調整前当期純利益	1,356,370	1,012,837
法人税、住民税及び事業税	402,656	437,968
法人税等調整額	61,708	△114,013
法人税等合計	464,364	323,954
当期純利益	892,005	688,883
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	892,005	688,883

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益	892,005	688,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120,996	△83,477
退職給付に係る調整額	16,281	171,155
その他の包括利益合計	△104,714	87,678
包括利益	787,291	776,561
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	787,291	776,561
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	543,775	506,000	10,639,263	△35,901	11,653,136
当期変動額					
剰余金の配当			△100,884		△100,884
親会社株主に帰属する当期純利益			892,005		892,005
自己株式の取得				△265	△265
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	791,121	△265	790,855
当期末残高	543,775	506,000	11,430,384	△36,167	12,443,992

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	724,536	△270,850	453,686	12,106,823
当期変動額				
剰余金の配当				△100,884
親会社株主に帰属する当期純利益				892,005
自己株式の取得				△265
自己株式の処分				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△120,996	16,281	△104,714	△104,714
当期変動額合計	△120,996	16,281	△104,714	686,141
当期末残高	603,540	△254,568	348,972	12,792,964

当連結会計年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	543,775	506,000	11,430,384	△36,167	12,443,992
当期変動額					
剰余金の配当			△100,883		△100,883
親会社株主に帰属する当期純利益			688,883		688,883
自己株式の取得				△547	△547
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	588,000	△547	587,452
当期末残高	543,775	506,000	12,018,385	△36,715	13,031,445

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	603,540	△254,568	348,972	12,792,964
当期変動額				
剰余金の配当				△100,883
親会社株主に帰属する当期純利益				688,883
自己株式の取得				△547
自己株式の処分				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△83,477	171,155	87,678	87,678
当期変動額合計	△83,477	171,155	87,678	675,130
当期末残高	520,063	△83,413	436,650	13,468,095

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,356,370	1,012,837
減価償却費	1,576,961	2,164,446
のれん償却額	21,317	5,329
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,280	3,260
受取利息及び受取配当金	△13,506	△14,489
支払利息及び社債利息	58,012	41,512
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,325	2,537
有形固定資産除却損	28,975	35,864
災害による損失	-	63,937
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,025	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	51,537
会員権評価損	2,500	2,650
売上債権の増減額(△は増加)	△513,383	△2,288,804
たな卸資産の増減額(△は増加)	734,776	926,222
仕入債務の増減額(△は減少)	△317,667	20,662
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,534	9,845
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△191,810	△1,764
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,100	1,520
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,089	32,600
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△486,480
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,751	△131,353
その他	266,365	1,271,990
小計	2,979,434	2,723,859
法人税等の支払額	△445,890	△394,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,533,543	2,328,962
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	13,594	14,489
有形固定資産の取得による支出	△4,129,587	△4,116,332
有形固定資産の売却による収入	6,071	64,071
有形固定資産の除却による支出	△17,611	△462
無形固定資産の取得による支出	△17,627	△85,878
投資有価証券の取得による支出	△134,132	△23,786
投資有価証券の売却による収入	8,452	-
会員権の取得による支出	△25,000	△4,730
定期預金の増減額(△は増加)	1,764,252	-
その他	3,533	16,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,528,054	△4,135,957
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息の支払額	△54,757	△42,987
長期借入れによる収入	3,580,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,948,740	△2,376,666
社債の償還による支出	△34,000	△564,000
自己株式の取得による支出	△265	△547
配当金の支払額	△100,866	△100,963
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,550,000	2,700,000
リース債務の返済による支出	△52,501	△51,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,131	1,763,625

現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,642	△43,370
現金及び現金同等物の期首残高	505,489	349,847
現金及び現金同等物の期末残高	349,847	306,477

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、包装米飯製品及び包装餅製品の原材料仕入及び販売市場が各々同一であることから、工場別・営業拠点別及び全社トータルによる収益管理を行っておりますが、事業戦略の意志決定、経営資源の配分等は当社グループ全体で行っているため、セグメント情報の開示は省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額	2,536円20銭	2,670円12銭
1株当たり当期純利益	176円84銭	136円57銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	892,005	688,883
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	892,005	688,883
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,044	5,044

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の変動

本日、別途適時開示しております「役員の変動に関するお知らせ」をご覧ください。